

輸出事業計画

※申請者名：株式会社フンドーダイ

品目：醤油、味噌

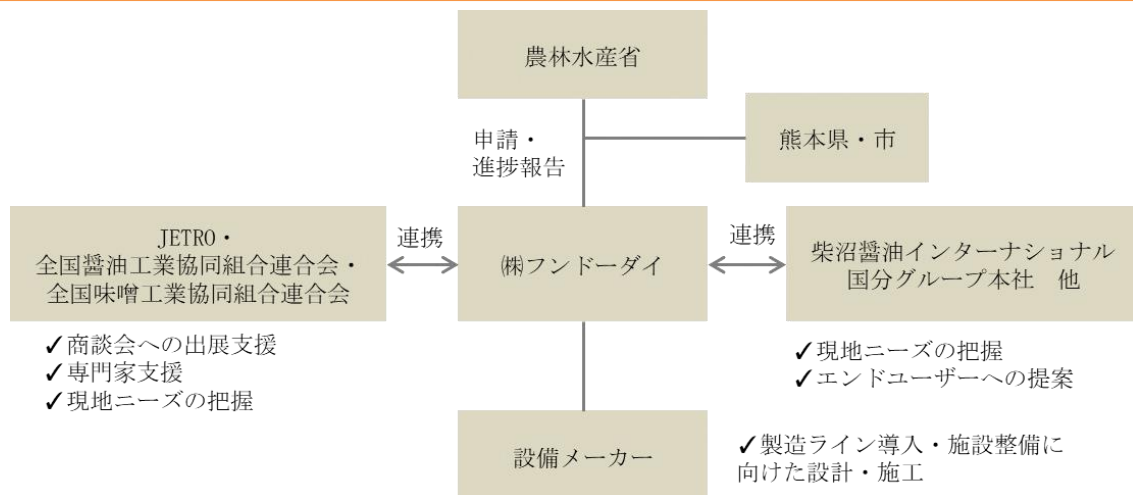
1. 輸出における現状と課題

- ・主力商品は醤油・味噌であり、九州に特徴的な甘口醤油の輸出額が最も多いほか、近年欧州・北米向けの透明醤油の輸出額が増加。味噌については、発酵、健康をキーワードとして輸出機運が高まっている。
- ・透明醤油以外にも減塩・アルコールフリー・グルテンフリー等のニーズ対応した製品を展開
- ・大手メーカー・海外メーカーと比べ、販路や価格競争力の面で劣るため、付加価値を持った製品展開による輸出拡大が必要
- ・輸出額の約8割を占めている中国・香港では、今後さらなる競争激化が予想されるため、欧州等への販路拡大が急務であると認識している

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・輸出拡大に向けた生産能力の向上・付加価値のある醤油製造を目的とした、最新の醤油製造ラインの導入、2022年までにFSSC22000の認証取得を目指す。
- ・味噌の輸出拡大に向け、機械設備や建屋の改修等を行い、2026年度までにFSSC22000認証取得を目指す。
- ・商流構築に向けた、海外での展示会への出展および現地フェアでの販売・試食会
- ・JETRO・全国醤油工業協同組合連合会と連携した、現地ニーズ/規制情報の把握・オンライン商談会への参加

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



【輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制】

P：現地バイヤー、及びJETROからの現地情報/規制情報に基づき、輸出事業計画・設備投資計画を検討

D：計画に基づき、国内・海外での商談会・フェア販売等へ参加し、輸出を実施

C：輸出の進捗状況について、JETRO・自治体・金融機関・域内連携事業者等の評価・アドバイスを踏まえ、必要に応じて計画を見直し

A：輸入商社からのフィードバック等を通じて現地消費者の求める商品製造・改善に着手

輸出事業計画
※申請者名：株式会社フンドーダイ
品目：醤油、味噌

4. 輸出目標額

【醤油】

	【現状】 (2020年度)	【目標】 (2030年度)
輸出額（千円）	87,000	170,000
主な輸出先	中国（香港含む）・ 韓国・オセアニア・欧州等	中国（香港含む）・ 欧州（主にフランス）・中東（主 にUAE）等

- ・ 目標額の内訳は、国別で中国（香港含む）70%、欧州10%、UAE10%
- ・ 欧州における販路拡大と、UAEへの新規販路開拓による輸出額増を目指す

【味噌】

	【現状】 (2023年度)	【目標】 (2030年度)
輸出額（千円）	1,550	50,368
主な輸出先	中国・フランス・台湾・米国・マカオ	中国・欧州（主にフランス）・台 湾・米国・東南アジア・中東（主 にUAE）・オーストラリア等